

# 復興を加速する 大規模予算を審議

予算特別委員会は、3月5日から8日まで中央コミュニティセンターで開かれました。初日には、委員長に豊間根信委員を選出。4日間にわたり一般会計や介護保険特別会計など9会計の平成25年度当初予算を審議しました。NPO問題や産業振興策など、会計ごとに委員から数多くの質問があり、活発な議論が交わされました。ここではその審議の概要をお伝えします。



予算特別委員会の様子

## NPOの問題

### 町の姿勢弱い

**問** 町はNPO問題への対応について、何かにつけて第三者調査委員会に任せているという答弁が多く、町として説明への姿勢が弱いのではないか。

**佐藤町長** 第三者に丸投げということではなく、第三者の立場で公平・公正な目で見てもらうことが重要だと思っている。

### 災害公営住宅は一戸建てを希望

**問** より多くの一戸建て災害公営住宅の建設を考えてもらいたい。

## 建設課

全体の計画に基づいて、どのくらいの戸数が必要か考える。災害公営住宅の3分の2は県の集合タイプである。残り3分の1は町で造るが、一戸建ての数は今後検討し、平成25年中に公表したい。

### 仮設ベッドの

### 設置の考えは

**問** 仮設の山田病院に入院機能があれば、本設の工期が遅くなってもある程度は待てると思うが、設置する考えは。

## 健康福祉課

仮設ベッドは制約がありできなかった。代わりに宮古病院で町の住民を受け入れたいとの話があった。県医療局と町の考

えが食い違わないよう協議する。

### 職員の定員増やしては

**問** 職員の定員適正化計画の目的は単なる人員と経費の削減なのか。国に縛られることなく必要に応じて採用すべきでは。

**総務課** 国に縛られるものではなく、事務量に応じた人員配置をする。人員削減が目的ではない。

### 補助金支給精査しては

**問** 町内の保育所建て替えへの補助金は、建設予定の敷地の未確定により返還が